

## 上手に使おう 横浜の水

～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

# 横浜ウォーター株式会社がタンザニア国ザンジバルの 水問題改善に向けた調査業務を受託！

横浜ウォーター株式会社は、横浜市水道局が有する技術やノウハウを生かし、連携して国内外の水道事業の課題解決に貢献するとともに、持続可能な水道事業運営の創出を追求しています。

このたび、同社は、令和3年8月2日付で独立行政法人国際協力機構（JICA）の「タンザニア国ザンジバル水行政及び水道事業管理システム強化に係る情報収集・確認調査」を受託しました。

### 【業務概要】

#### 1 件名

JICA「タンザニア国ザンジバル水行政及び水道事業管理システム強化に係る情報収集・確認調査」

#### 2 契約期間

令和3年8月2日（月）から令和4年2月28日（月）まで

#### 3 共同企業体構成員

株式会社 NJS（代表者）、横浜ウォーター株式会社、  
株式会社地球システム科学

※いずれも横浜水ビジネス協議会会員企業

#### 4 主な業務内容

- (1) ザンジバル水行政における法・制度のレビュー及び改革に向けた提言
- (2) 他ドナー等による事業の進捗及び課題に係る情報収集
- (3) 実施機関の組織運営及び人材育成に係る情報収集及び提言
- (4) 地下水管理の適正化に向けた情報収集及び提言
- (5) 施設管理の課題に係る情報収集及び改善に向けた提言
- (6) 顧客管理の課題に係る情報収集及び改善に向けた提言
- (7) 本邦民間企業や自治体等のパートナーとの連携可能性に係る情報収集

※横浜ウォーター株式会社は、上記の業務のうち、(6)と(7)の業務を担当します。



### 【事業背景・目的】

東アフリカのタンザニア国ザンジバル（人口130.4万人：2012年）は、水道料金徴収率が6.4%と低く、料金収入が不十分です。また、施設管理の課題により老朽化した施設の更新・改修ができていないことから6割もの漏水が生じ、一日あたりの平均給水時間は6時間未満という状況です。さらに、私有井戸からの地下水採取による塩水侵入が喫緊の懸念となっています。

本業務は、ザンジバルの現状を鑑み、喫緊の課題への対応や可能な支援方策、ザンジバル政府の中長期的なアクションプラン、JICA支援の方向性の検討を行い、ザンジバル水行政及び水道事業管理システムの強化に関する情報の収集・調査を行うものです。

### お問合せ先

(国際事業に関すること)水道局事業推進部国際事業課長 米澤 陽子 TEL 045-671-3077  
(プロジェクトに関すること)横浜ウォーター株式会社 広報室室長 酒井 洋 TEL 045-651-6100